

キング通信工業株式会社

社会に「安心」と「安全」を提供するセキュリティ機器メーカー、企画から設計開発、量産から販売、保守までの「一貫したモノづくり」を實踐

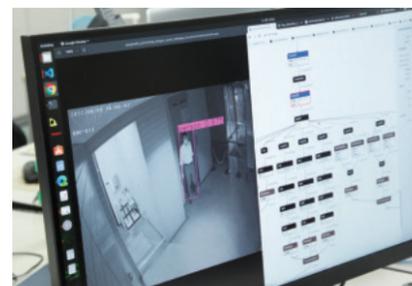
キング通信工業は主力事業のセキュリティ機器をはじめ、介護機器や街頭防犯カメラなど社会貢献度の高い製品・システムを世に送り出し着実な成長を続けています。ハード(電気・回路・機構)・ファーム(組込み・制御)・ソフト(情報処理)のエンジニアが協働して、人を社会をやさしく堅実に見守り続ける製品・システムの研究や開発に邁進しています。



◆自社による主導開発のセキュリティ機器メーカー

1968年の創業以来、キング通信工業はセキュリティ機器やシステム開発を主事業とし、主な顧客である警備会社のセキュリティビジネスを、私達が提供する技術により推進、発展させ、共に社会の「安心」「安全」に貢献しています。

セキュリティシステムにおいて侵入者の警戒を担う防犯センサ、様々なインフラに対応した送/受信機、警備会社(管制センター)で24時間の遠隔監視を担う情報処理システム、エンドユーザー(利用者)の利便性を高めるスマホアプリやクラウド、金融機関でATMのスケジュール管理を司る制御装置や個人宅向けホームセキュリティ、高齢者の生活を見守る検知シ



AIと画像処理を駆使したセンシング技術に挑戦し、より高度なセキュリティや見守りシステムを追求しています。

◆介護市場に挑戦

主力であるセキュリティ事業で培った技術と経験を活かして、第二の事業領域として近年は介護市場への挑戦を続け「シールド見守りセンサ」を開発、日本に迫りくる超高齢化社会において介護従

事者の身体的な負担や精神的な負担の軽減を目的とした本製品は、お客様目線をとことん追求した末に製品化に至った誇れる商品となりました。その開発過程ではコアデバイスであるTOFセンサを内製化してセンサの小型化・軽量化を図り、より高い安全性とデザイン性を両立、高齢者へのプライバシー配慮と行動の見え方という困難な課題に対し、商品の特長となるシールド画像を考案して解決しました。当社は3D測距技術を用いた介護ロボットメーカーのバイオニアとして、センサ(ハード)／検知アルゴリズム(ソフト)両面において改善改良へのチャレンジを今も続けています。

※「ロボット介護機器開発 導入促進事業(経済産業省)」に採択、近年は「HCR 2024(国際福祉機器展)」にも出展し介護業界における認知度を高めています。



主要なOSに対応したスマホアプリの開発など、ユーザー目線を意識し、より便利で使いやすいユーザー環境を提供しています。

◆専攻を活かす

様々な技術セクション
技術系の職種としては、設計開発※、生産管理、調達、品質保証、調査研究、技術サービスセールスエンジニア、システムエンジニア(クラウドサービス)の運用、技術サービス支援、情報管理(社内幹システムの運用保守)および設計開発などがあります。

※①電気設計・回路設計・機構設計
②ソフトウェア、スマホアプリ、クラウド組込み(主に製品内部のハード制御)活躍の場

◆活躍の場
機械、電気電子、情報の各分野を専攻されている方は、学んだ知識やスキル、実践経験を直接的に活かせる開発環境です

が、大切なのは新たに学ぶ姿勢。機電情報以外の専攻(学部出身者)であっても開発意欲や好奇心、自身の向上に努力を惜しまない主体的な姿勢がベースとなり、活躍している社員が大勢います。学んでいる分野をそのまま仕事に活かしたい、という考えをお持ちかもしれませんが、研究過程で培った論理的な思考力や目的達成に向けて追求する姿勢こそ、入社後の実務シーンにおいて十分に活用することができますと考えています。

開発拠点である横浜テクノセンターには様々な技術セクションが存在しますが、枠に捉われないで様々なことに挑戦し経験を積んでいく中で、自身自身が活躍できるステージを広げることができます。

◆学生へのメッセージ

開発者になりたい。
設計者になりたい。
より良い製品を世に送り出し、ユーザーに喜ばれ感謝されたい。
「技術者への強い憧れから理系を志され、現在も各専攻分野の追求に邁進されている皆様、日々の弛まぬ努力によって習得された知識や経験をキング通信工業の、誇りを持ってモノづくり、に活かしてみませんか!

「セキュリティ」への興味や、企業選びの軸に「社会貢献」がございましたら、個別対応の説明会にて詳しいお話をさせていただきます。皆様からの積極的なご連絡を心よりお待ちしております。



ハード～ファーム～ソフト、全ての技術を保有し顧客からのテクニカルな要望にも応え得ること、また様々な開発シーンにおいてエンジニア自身のアイデアや創意工夫を製品・システムに反映、やりがいと充実感に溢れた開発環境を整えています。



生産管理部門では各製品の受入れ検査や調査解析、協力工場への発注及び納期管理、電子部品や機構部品の調達購買、製造原価の管理及びコスト削減など、顧客への安定供給に努めます。

品質保証部門では各製品の運用を想定しハードウェアおよびファームウェアに関する厳しい評価試験を実施、高品質の維持管理に努めます(写真は信頼性試験室)。

会社概要

- 本社所在地
〒158-0092 東京都世田谷区野毛2-6-6
- 横浜テクノセンター所在地
〒225-0014 神奈川県横浜市青葉区荏田西1-10-1
- 地方拠点
大阪、福岡、札幌、仙台、名古屋
- メール
saiyou@king-tsushin.co.jp
- 電話
03-3705-8111
- URL
https://www.king-tsushin.co.jp

エントリー受付中

横浜テクノセンター

東京本社は世田谷区／二子玉川にあり、都心へのアクセスがしやすいながらも多摩川が一望できる緑豊かな環境です。一方、開発拠点(横浜テクノセンター)は、横浜市／市が尾駅から徒歩圏内の閑静な住宅街の中、落ち着いた仕事に打ち込める環境にあります。どちらも自社製品のセキュリティ機器で守られた自社ビルで、東急田園都市線で1本、車なら30分程度の距離にあり、往来が容易なことから、営業・企画部門とエンジニアでお客様の声や市場のニーズについて直接コミュニケーションできる利点があります。

また、開発部門、品質保証部門、生産管理部門、サービス管理部門が開発拠点に集約されているので、エンジニアは転勤を気にせず安心して働くことができるだけでなく、ベテランや先輩からのサポート、他部門のエンジニアから角度の異なる視点で助言を得られるなど、皆さんの成長を支える職場環境です。

横浜テクノセンター

本社

初期配属予定地 および 昨年度新卒採用実績

	北海道・東北	関東	北陸・中部	関西	中国・四国	九州・沖縄	海外
		●					
理系	●	●	●				
文系	●						5

募集学科

機械・精密	電気・電子	情報・通信
化学	材料	金属・非鉄
建築・土木	環境	エネルギー
数学・物理	生物・自然	宇宙・航空
農学	薬学	その他